

小矢部市立正得公民館

◆事業の目的

ふるさとが誇る大谷兄弟の生家と博物館等の見学を通して、昔の人々の生活と農作業について学習し、ふるさとの良さを再認識する。また、親子で野菜の栽培を体験し収穫することで、「食」への感謝の気持ちを養育する。

◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
4月28日(土)	開講式・ふるさと博物館の見学	小矢部市水落	16名
5月19日(土)	野菜苗の植え付け・大豆の播種	小矢部市石名田	31名
7月21日(土)	夏野菜の収穫と調理実習	正得公民館	27名
8月13日(月)	夏野菜の収穫と栽培管理	小矢部市石名田	25名
10月20日(土)	大谷家の見学・秋野菜の収穫	小矢部市水落・石名田	21名
11月24日(土)	収穫感謝祭・閉講式	正得公民館	27名

◆事業の様子

☆ 開講式・ふるさと博物館の見学

小矢部市水落にある「ふるさと博物館」は、郷土が誇る大谷さん兄弟の偉業を知る資料の展示と、昔の生活用品や農具を展示してあります。親子ともに、今とは違う生活様式に驚いたようでした。



☆ 野菜苗の植え付けから収穫まで

小矢部市石名田地内の野菜畑を借用し、講師に野菜苗の植え方を指導していただき、さつまいも・ミニトマト・ピーマン・ナス・カボチャ・オクラの苗を植え、大豆・二十日大根の種を蒔きました。そして7月と8月に夏野菜の収穫、10月に秋野菜（さつまいも・大豆・二十日大根）の収穫をしました。今年の夏の天候が良くて野菜が順調に育ち甘くおいしく感じられました。



☆ 大谷さん生家の見学

小矢部市教育委員会が主催する大谷家住宅一般公開中の10月20日(土)に併せ、小矢部市の名誉市民である大谷さん生家の見学をしました。大谷家住宅は、砺波地域に多い農家建築様式の「アズマダチ」で「ふるさとに残したい景観」でもあります。

☆ 収穫感謝祭

講師の指導で収穫した大豆で豆乳・豆腐作りと調理体験をして楽しく会食しました。収穫の喜びとともに、作物の大切さを学びました。



◆事業の成果と課題

親子でいろいろな野菜作りを体験して強い絆ができたが、家庭でも実践したいものです。